


<p>青木 裕美 あおき ひろみ</p>	<p>日本中世史</p>	<p>① 経歴・職歴 令和4年度 新規採用 令和4～5年度 埼玉県立文書館公文書担当 令和6～7年度 埼玉県立文書館古文書担当 令和8年度～ 埼玉県立文書館史料編さん担当</p> <p>② 過去の実績(調査・展覧会運営・講演会等) 【展覧会】 平成29年度 「織田信長と上野国」(群馬県立歴史博物館) 主担当 平成30年度 「綺羅美耀2」(群馬県立歴史博物館) 主担当 令和元年度 「空からグンマを見てみようー国絵図・城絵図・町村絵図ー」(群馬県立歴史博物館) 主担当 令和4年度 「坂東武者の生きざま～埼玉の中世文書～」(埼玉県立文書館) 副担当 「感染症と対策の歴史ー祈りから『いのり』へー」(埼玉県立文書館) 主担当 令和5年度 「SAITAMAー記録資料から震災を読み解くー」(埼玉県立文書館) 主担当 「タイムスリップ～埼玉空の旅～」第3期「水と緑」(埼玉県立文書館) 担当 令和6年度 「天体観測ー歴史のなかの星と人びとー」(埼玉県立文書館) 主担当 令和7年度 「戦国乱世の終焉と泰平の世ー豊臣軍がやってくる！ ヤアヤアヤア！！」(埼玉県立文書館) 主担当 【講演会等】 令和3年度 「長尾顕長とその時代」 (足利市立美術館、足利市制100周年記念特別展「戦国武将 足利長尾の武と美」記念講演会) 令和5年度 「疫病と対策の歴史ー埼玉県の事例を中心にー」 (埼玉県文化財保存協会、第68回文化財講習会「災害に学ぶー関東大震災から100年を迎えてー」)</p> <p>③ 著作・研究業績等 【研究論文等】 「富岡文書の伝来について」(『群馬文化』第294号、平成20年) 「寛文上野国絵図の基礎的考察ー前橋市立図書館所蔵『上野国絵図』をめぐってー」(『双文』vol.33、平成28年) 「八木家文書とその伝来について」(『群馬県立歴史博物館紀要』第39号、平成29年) 「下川文書とその伝来についてー榎取素彦と加藤清正関係文書を中心にー」 (『群馬県立歴史博物館紀要』第40号、令和元年) 「織田政権と上野国」(江田郁夫・築瀬大輔編『中世の北関東と京都』、高志書院、令和2年) 「史料紹介 就御絵図之儀諸事覚帳(大日方家文書)」(『群馬県立歴史博物館』第42号、令和3年) 「長尾顕長とその時代」(足利市立美術館、「戦国武将 足利長尾の武と美」展示図録、令和3年) 「史料紹介 黒澤文書とその伝来についてー上武国境山間地域における地侍の基礎的考察ー」 (『群馬県立歴史博物館紀要』第44号、令和5年) 「疫病と対策の歴史ー埼玉県の事例を中心にー」(『埼玉の文化財』第64号、令和6年) 「正保武蔵国絵図の基礎的考察(一)ー近世初期上武地域における国境認識をめぐってー」(埼玉県立文書館『紀要』第38号、令和7年) 「正保武蔵国絵図の基礎的考察(二)ー近世初期上武地域における国境認識をめぐってー」(埼玉県立文書館『紀要』第39号、令和8年) 【著作(共著)】 『戦国史ー上州の150年戦争ー』(上毛新聞社、平成24年) 『ぐんまの城30選ー戦国への誘いー』(上毛新聞社、平成28年) 『戦国人ー上州の150傑ー』(上毛新聞社、令和3年) 『群馬の歴史資料を未来へーぐんま史料ネット事始めー』(群馬歴史資料ネットワーク編、令和3年) 【自治体史】 館林市史資料編第2巻中世『佐貫荘と戦国の館林』(館林市、平成19年) 館林市史特別編第4巻『館林城と中近世の遺跡』(館林市、平成22年) 館林市史通史編第1巻『館林の原始・古代・中世』(館林市、平成27年)</p> <p>④ 今年度の取組・抱負・メッセージ 戦国時代から江戸時代初期の地域社会、古文書や絵図の研究をしています。 埼玉県の学芸員となり、5年目を迎えました。今年度、史料編さん担当へ館内異動となりました。</p>
	<p>・中近世移行期の地域社会 ・文書の伝来 ・絵図</p>	


新井 浩文	日本中世史・アーカイブズ学	① 経歴・職歴 県立博物館(現歴史と民俗の博物館)、教育局生涯学習文化財課、県立文書館古文書・史料編さん担当、県立歴史と民俗の博物館企画・学習支援担当、資料調査・活用担当、県立文書館首席学芸主幹を経て、現在、県立文書館史料編さん担当学芸主幹。
あらい ひろぶみ		② 過去の業務実績 展示 H10「友山と武香-青山根岸家文書の世界-」 H22「中世文書の世界-鎌倉・室町時代の文書-」 H23「洪沢栄一と埼玉の近代-創業期の日本煉瓦製造株式会社-」 H25「中世文書の世界Ⅱ-戦国時代の文書」 H26「中世文書の世界Ⅲ-館有文書あらかると-」 H29「関東管領上杉氏と埼玉の戦国武将」(歴史と民俗の博物館共催) H29「鉢形城主北条氏邦」(歴史と民俗の博物館共催) H30「古文書 大公開! -みる・よむ・しらべる埼玉-」 R2「新収集品展2018・2019」 R3「文書館常設展示 未来へつたえる」 R4「坂東武者の生きざま~埼玉の中世文書~」 R6「みんなの学校-教育史編さんと学校アーカイブズ-」
	戦国時代の領主支配と流通	講演 H23 歴史講座「忍城と戦国武蔵の終焉」(さきたま史跡の博物館) H25「埼玉県立文書館の鉢形関係文書」(鉢形城歴史館) H26「北条氏邦の新出文書」(鉢形城歴史館) H28「戦国時代の糟壁・関宿・岩付」(春日部市郷土資料館) H28「はじめての古文書読解」(鴻巣市民大学講座) H29「埼玉協の取り組みと成果について」(鳥取県立公文書館) H29 さいたま市民大学「戦国時代の岩付」(シーノ大宮) H30 ミュージアムカレッジ2018「埼玉・古文書・あらかると」(歴史と民俗の博物館) H30 歴史講座「関宿城と中世利根川水運」(嵐山史跡の博物館) R1 企画展講演会「岩付太田氏とその家臣たち」(足立区立郷土博物館) R1 特別展講演会「太田資正と関東の動乱」(横浜市歴史博物館) R1 第30回保存フォーラム「地域史料の防災対策」(国立国会図書館) R2「熊谷氏のその後-熊谷家系図の謎-」(熊谷市立図書館) R2「戦国時代の忍城と成田氏」(さいたま文学館) R3「戦国の忍びを考える-武蔵国での戦いをめぐって-」(嵐山史跡の博物館) R3「はじめての古文書」(伊奈町立図書館) R4「古文書から読み解く埼玉の戦国武将」(彩の国ビジュアルプラザ) R5「川口中世」(川口市郷土史会) R6「戦国時代の利根川水運-柿木川戸を中心に-」(草加市歴史民俗資料館) R7「安保文書の伝来にみる中世武蔵武士の生きざま」(嵐山史跡の博物館) R7「文書館のしごと-地域おこしとアーカイブズによせて-」(秋田県公文書館) 論文等 H24『関東の戦国期領主と流通』(岩田書院) H26「成田氏による忍領形成と河川」(『埼玉地方史』70) H27「長林院-太田氏資の室-」(『北条氏康の子供たち』宮帯出版) H28「地方文書館の役割と民間アーカイブズ」(『社会変容と民間アーカイブズ』勉誠出版) H28「埼玉県立文書館所蔵史料を用いた授業モデル-高校生に向けた文書館利用の取り組み-」(『文書館紀要』30) H29「地方史研究と地域史料調査会」(『地方史研究』392) H30『さきたま文庫 慈恩寺(改訂版)』(さきたま出版会) H30 共著「古文書 大公開! -みる・よむ・しらべる埼玉-」展示報告(歴史と民俗の博物館『紀要』13) H30 共著「丹党岩田氏に関する新出史料」(『文書館紀要』32) R1「織豊政権と太田三楽斎道誉父子」(『戦国・近世初期西と東の地域社会』岩田書院) R1「【資料紹介】嶋田秀順・木下秀吉連署奉書について」(埼玉県立歴史と民俗の博物館『紀要』14) R2「河川台帳に遺されていた幻の中世城郭を追う」(『日本の歴史を解きほぐす』(文学通信) R2「利根川東遷再考-戦国期の河川普請から-」(『埼玉の文化財』61) R3「史料保存利用問題と文書館の今日-平成~令和へアーキビスト元年に想う-」(『三郷市史研究 葦のみち』31) R3『久喜市の歴史と文化財2 鷲宮神社』(久喜市教育委員会) R4『史料彙集 安保文書』(共著・八木書店) R4『旧国中世重要論文集成 武蔵国』(編著・戎光祥出版) R4「埼玉県立文書館における高校生と教員のためのコンシェルジュ-新学習指導要領からのアプローチに応える-」(『文書館紀要』36) R5「学校アーカイブズ研究ノート」(『文書館紀要』37) R6『文書館のしごと-アーキビストと史料保存-』(吉川弘文館) R7共著『高野山西南院「関東過去帳」』(さいたま市史料) ③ 研究業績等 戦国期の県内領主や河川流通に関する研究のほか、認証アーキビストとしてアーカイブズ学に関する研究も続けていきたいと思えます。 ④ メッセージ 戦国時代の研究のほか、史料に関する保存管理や県内各地域との史料保存ネットワークにも関心があります。 ⑤ その他 趣味は、軽登山と酒蔵探訪。


<p>駒見 敬祐</p>	<p>日本中世史</p>	<p>①経歴・職歴 令和2年4月～令和6年3月 埼玉県立文書館 史料編さん担当 令和6年4月～令和7年3月 埼玉県立歴史と民俗の博物館 資料調査・活用担当 令和7年4月～令和8年3月 埼玉県立歴史と民俗の博物館 常設展示・資料担当 令和8年4月～ 埼玉県立歴史と民俗の博物館 特別展示・広報担当</p>
<p>こまみ けいすけ</p>		<p>②過去の業務実績 R3 企画展「古物を伝えるー好古家たちの埼玉ー」展示主担当(文書館) R4 企画展「板東武者の生きざま～埼玉の中世文書～」展示主担当(文書館) R4 嵐山×文書館 企画展記念講演会「武蔵武士の中世～鎌倉から室町へ～」講演 R4 文書館歴史講座「板東武者の生きざま～文書館収蔵資料からみる埼玉の中世」講師 R5 企画展「菅多尼訶(ポタニカ)ー本草学から植物学へー」展示主担当(文書館) R7 収蔵品展「太平記をよむ」展示主担当 R7 歴史と民俗の博物館 歴史民俗講座「『太平記』にみる武蔵武士」講師</p>
	<p>南北朝～戦国時代の関東政治史、特に鎌倉府と上杉氏について</p>	<p>③著作・研究実績等 R2 「鎌倉公方の発給文書」「犬懸上杉氏の発給文書」(黒田基樹編『鎌倉府発給文書の研究』戎光祥出版) R3 「十五世紀における安部氏の動向～安部文書の年代比定をめぐって～」(『文書館紀要』34) R3 「『鎌倉府』の盛衰を左右した幕府・鎌倉公方の対立」 (久水俊和編『室町殿』の時代ー安定期室町幕府研究の最前線ー)山川出版社) R4 「上杉四家の関東支配をめぐる争乱」(渡邊大門編『諍いだらけの室町時代』柏書房) R5 「享禄の高基・晴氏抗争」「河越合戦と足利晴氏」(黒田基樹編著『足利高基・晴氏』戎光祥出版) R5 「埼玉県立文書館収蔵資料にみる「害虫」の誕生」(『文書館紀要』36) R6 「十五世紀関東の戦乱と武蔵武士」(『文書館紀要』37) R7 「長享の乱における古河公方足利政氏～政氏の山内上杉陣営への転向をめぐって～」(『紀要(埼玉県立歴史と民俗の博物館)』19) R7 『中世武士選書55 上杉憲実ー足利義教と持氏の狭間で苦悩した関東管領』(戎光祥出版) R7 「新出の室町幕府奉行人連署奉書について」(『紀要(埼玉県立歴史と民俗の博物館)』20)</p> <p>④今年度の取り組み・抱負・メッセージ 特別展示・広報展示に配置換えになりました。魅力的な展覧会を企画できるように努力します。</p> <p>⑤その他 趣味は昆虫を中心に自然に触れることと、各地の城を巡ること。日本100名城スタンプラリー(いま80個)。</p>

<p>関口 真規子</p>	<p>日本中世史</p>	<p>①経歴・職歴 埼玉県立文書館(公文書担当を経て古文書担当)、埼玉県立歴史と民俗の博物館(展示担当)、 埼玉県立文書館(公文書担当を経て古文書担当)を経て文化資源課博物館・美術館担当。 埼玉県教育局市町村支援部文化資源課を経て嵐山史跡の博物館(学芸担当)。 現在、埼玉県立文書館 古文書担当。</p>
<p>せきぐち まきこ</p>		<p>②過去の業務実績 H27 特別展「戦国図鑑」運営(歴史と民俗の博物館) H28 企画展「高麗郡一三百年一物と語りー」(歴史と民俗の博物館) H29 特別展「上杉家の名刀と三十五腰」(歴史と民俗の博物館) H30 企画展「古文書 大公開！」(文書館・歴史と民俗の博物館) H30 歴史講座「紙から知る、古文書」講師(歴史と民俗の博物館) H30 展示「埼玉の人物 飯野喜四郎」(歴史と民俗の博物館) R1 展示「埼玉の“ふみくら”」(文書館) R2 展示「花押と印章×サインとはんこ」(文書館) R5 企画展「武蔵武士の食と信仰ー食べて 祈って 戦ってー」(嵐山史跡の博物館)</p> <p>③研究業績 H21 『修験道教団成立史』(勉誠出版) H23 「三宝院門跡と「修験道之管領」」(永村眞氏編『中世寺院の仏法と社会』、勉誠出版) H27 「当山派」(時枝務・長谷川賢二・林敦編『修験道史入門』、岩田書院) H28 「醍醐寺所蔵「御末寺・修験官職継目控」「武蔵」国項〈上〉」(『紀要』11号 歴史と民俗の博物館) H29 「醍醐寺所蔵「御末寺・修験官職継目控」「武蔵」国項〈下〉」(『紀要』12号 歴史と民俗の博物館) R1 近代文書の保存・活用のための修理に関する一試論ー埼玉県行政文書を中心にー (アーカイブズ研修Ⅲ 修了研究論文) R3 「「義演准后日記」とその紙背文書」(『中世寺院の仏法と社会』永村眞編、勉誠出版) R5 講演「日本九峰修行日記で辿る近世関東の霊山ーとある修験者のまなざしー」 (公益社団法人日本山岳会埼玉支部等) R6 研究ノート「企画展開催と博学連携における一試論」(埼玉県立史跡の博物館研究紀要第18号) R7 口頭発表「当山派の印判に関する一考察」(日本山岳修験学会伊勢学術大会) ほか</p> <p>④メッセージ より多くの県民の方に、文書館に足を運んでいただけるよう努めます。</p> <p>⑤その他 当山派正大先達寺院の御朱印を集めています。もう少しで目標達成できそうです。</p>





・宗教史
・古文書学


根ヶ山 泰史	日本中世史	① 経歴・職歴 H23～ 歴史と民俗の博物館学芸員 H25～ 生涯学習文化財課主事、主任 H30～ 歴史と民俗の博物館学芸員、主任学芸員 R06～ 文書館主任学芸員
ねがやま やすふみ		
	鎌倉・南北朝時代の政治と社会	② 過去の主な業務実績 H24 特別展「大名と藩—天下泰平の立役者たち—」運営(歴史と民俗の博物館) H30 企画展「古文書 大公開!—みる・よむ・しらべる埼玉—」運営(歴史と民俗の博物館) H30 特別展「ダムと変わる! 私たちの暮らし」運営(歴史と民俗の博物館) R04 企画展「埼玉武術英名録」運営(歴史と民俗の博物館) R05 特別展「鉢形城主 北条氏邦」企画(歴史と民俗の博物館) R07 企画展「北武蔵の剣術」運営(文書館) ほか ③ 主な研究業績等 H23 「鎌倉期における「悪党」の語義変化」史林第94巻2号 史学研究会 H25 「近現代公印制度の成立史—埼玉県印を主な事例として—」埼玉地方史第68号 埼玉県地方史研究会 H27 「丹党中村氏・大河原氏西遷の基礎的考察」紀要第10号 歴史と民俗の博物館 H30 「丹党岩田氏に関する新出史料」(共著)文書館紀要第32号 埼玉県立文書館 R02 「「成田家資料」の紹介」紀要第15号 歴史と民俗の博物館 R05 『日本史のなかの埼玉県』(共著) 山川出版社 「法養寺薬師堂内墨書の調査報告」紀要第17号 歴史と民俗の博物館 R07 「岩田系図諸本の比較分析(一)」文書館紀要第38号 埼玉県立文書館 R08 「法養寺薬師堂内墨書の調査報告 補遺」紀要第20号 歴史と民俗の博物館 「岩田系図諸本の比較分析(二)」文書館紀要第39号 埼玉県立文書館 ほか ④ メッセージ 文書館勤務3年目です。主に古文書の寄贈・寄託や企画展「札所巡りの旅」、新規事業の「学校アーカイブズ資料所在確認調査」などを担当します。 ⑤ その他 目下2児の育児に奮闘中。趣味は旅行、武道、博物館・史跡めぐりです。

森内 優子	日本中世史	① 経歴・職歴 県立博物館・県立歴史資料館・県立文書館、県庁勤務を経て、現在、歴史と民俗の博物館勤務。
もりうち ゆうこ		② 過去の実績 H11 特別展「ゆ ～お風呂の文化史～」企画・運営・図録執筆（県立博物館） H17 資料紹介展示「親子で学ぶ 埼玉近現代の災害 ～被害のようすと県のはたらき～」(県立文書館) H19 収蔵文書目録「坂本家文書目録」編集（県立文書館） H27 重要文化財公開展「SAITAMA食べものヒストリー」(県立文書館) H28 重要文化財公開展「埼玉県庁舎ものがたり 一文書と写真でたどる145年のあゆみ」(県立文書館)
	鎌倉～南北朝時代の政治史・社会史	③ 著作・研究実績等 H15 「畠山国清の乱における安保泰規の動向について」(武蔵野第79巻第2号) H16 「東国内乱期における安保氏の立場について―常陸国下妻荘小嶋郷の宛行と還補をめぐって―」(文書館紀要第18号) H19 「熊谷直実の出家に関する一考察 一問注所の移転をめぐって―」(文書館紀要第21号) H29 「収蔵資料にみる埼玉県庁舎の歴史 一重要文化財公開展の開催をとおして―」(文書館紀要第31号) ④ メッセージ 昨年度から、大宮公園にある歴史と民俗の博物館に勤務しております。たくさんの資料をさまざまな角度からご紹介する展示や、藍染め、まが玉、組紐などの体験ができる工房など、埼玉県のさまざまな「すごい」を集めてお待ちしております。大人から子供までお楽しみいただける博物館をめざして、頑張ります！


伊藤 由佳	日本近世史	①経歴・職歴 R7.4～ 埼玉県立文書館 古文書担当
いとう ゆか		②過去の業務実績 R7 企画展「戦国乱世の終焉と泰平の世-豊臣軍がやってきた！ヤアヤアヤア！！-」(文書館) 副担当 ③著作・研究実績等 なし ④今年度の取り組み・抱負・メッセージ 採用から2年目となりました。古文書講座や企画展示「「ありがとう」の伝え方」などを担当します。初めて、主担当として企画展示を行います。「感謝の気持ちを伝えたい」と思っていたいただけるような展示にしたいです。
	豪農層と地域社会の関わり	


大橋 毅頭	日本近世史	<p>① 経歴・職歴 文書館、文化資源課、文書館を経て、歴史と民俗の博物館勤務</p>
おおはし たけあき		<p>② 過去の業務実績 H27 収蔵文書目録第55集『飯塚家文書目録』編集 H28 「新公開 飯塚家文書展―深谷と歩む―」(平成28年6月～10月) H30 人物展「本庄宿の豪商 戸谷半兵衛」(平成30年4月～7月) H30 企画展「古文書 大公開！―みる・よむ・しらべる埼玉」(平成30年7月～9月) R1 『埼玉県指定文化財調査報告書』第28集編集 R3 企画展「埼玉の黎明―渋沢栄一が目指した社会―」(令和3年9月～11月) R3 収蔵文書目録第60集『古沢家文書目録(2)』編集 R4 企画展「新収集公開文書 古沢家文書展―近代熊谷の発展に尽くした名士―」(令和5年3月～5月)</p>
	近世御用商人の領主金融	<p>③ 研究業績等 H26 「忍藩阿部家の江戸屋敷」(『文書館紀要』第28号) H27 「将軍綱吉の阿部邸御成り」(『文書館紀要』第29号) H28 「本庄宿戸谷家の柳河藩立花家への大名貸」(『文書館紀要』第30号) H29 「本庄宿戸谷家の小城藩鍋島家への大名貸」(『文書館紀要』第31号) H29 「忍城主阿部家の江戸藩邸と将軍御成り」(『行田市郷土博物館研究報告』第9集) H29 「文書調査員制度の成果と課題」(『自治体史編さん以降の地域史料管理』) H29 「民間所在文書の散逸とその対策」(『アーカイブズ研修Ⅲ修了研究論文』平成29年度) H30 「平成30年度企画展「古文書 大公開！―みる・よむ・しらべる埼玉―」展示報告」(『歴史と民俗の博物館紀要』第13号)、分担執筆 H30 「元禄期の経済政策と幕府為替御用」(『文書館紀要』第32号) R1 「本庄宿戸谷家の富山藩・七日市藩前田家への大名貸」(『文書館紀要』第33号) R2 「中山信吉の事績と文化財」(『歴史と民俗の博物館紀要』第15号) R3 企画展図録「埼玉の黎明―渋沢栄一が目指した社会―」(埼玉県立文書館) R3 「渋沢栄一の関東人撰御用」(『文書館紀要』第35号) R4 「埼玉県立文書館における古文書講座の意義」(『文書館紀要』第36号) R5 「企画展「新収集公開文書古沢家文書―近代熊谷の発展に尽くした名士―」の成果と課題」(『文書館紀要』第37号) R6 「将軍綱吉と岩槻藩主松平忠周」(『歴史と民俗の博物館紀要』第19号) R7 「豪商淀屋と久喜藩米津家」(『歴史と民俗の博物館紀要』第20号)</p> <p>④ メッセージ 元禄時代、大名貸、藩財政、武家屋敷などに興味があります。</p> <p>⑤ その他 博士(社会学)、JCA2020036 認証アーキビスト</p>


<p>木暮 咲樹</p>	<p>日本近世史</p>	<p>① 経歴・職歴 R3.4～R8.3 埼玉県立文書館 古文書担当、R8.4～ 文化財・博物館課 文化財活用・博物館担当</p>
<p>こぐれ さき</p>		<p>② 過去の業務実績 R3 文書館埼玉150周年企画展「埼玉の黎明—渋沢栄一が目指した世界—」サブ担当 R4 収蔵文書目録第61集『古沢家文書目録(3)』編集 R5 文書館企画展「古文書を楽しむ—見方、読み方、調べ方—」主担当 R5 第13回埼玉県学芸員合同研究発表会 ミュージウムフォーラム「埼玉のお伊勢参り—文書館収蔵史料の事例から—」発表 R6 文書館企画展「本をめぐる文化—江戸時代の本屋と読者たち—」主担当 R6 講演「文書館収蔵史料にみる埼玉からのお伊勢参り」(「歴史に学ぶ埼玉からのお伊勢参り展」講演)</p>
	<p>近世の庶民の旅、文化、信仰</p>	<p>③ 著作・研究業績等 R3 「安政期における疫病除けの様子—林家文書の祈禱記録から—」(『文書館紀要』第35号) R5 「近世後期における毛呂本郷の人々の伊勢参宮—伊藤家文書の道中日記を中心に—」(『文書館紀要』第37号) R7 「文書館収蔵資料からみる近世の出版文化—企画展「本をめぐる文化—江戸時代の本屋と読者たち—」の成果と課題—」(『文書館紀要』第39号)</p> <p>④ メッセージ 初めての異動で県庁勤務となりました。県の文化財の継承と活用、県の博物館等により親しみをもっていたために何が出来るか、新たな目線で日々学び、考えていきたいと思っています。</p> <p>⑤ その他 寺社巡りが趣味です。県内の寺社に積極的に足を運んでいきたいと思っています。</p>

小松和史	日本近世史	<p>① 経歴・職歴 R5.4～ 埼玉県立歴史と民俗の博物館(R5～学習支援担当、R7～特別展示・広報担当)</p>
こまつたかふみ	 <p>米穀流通/白米市場/問屋/日用稼ぎ/水車稼ぎ</p>	<p>② 過去の実績(調査・展覧会運営・講演会等) ★講演会 R6「城下町水車の取り決めを読む」(行田市郷土博物館令和6年度冬の古文書講座～初級・中級編～) R6「令和7年 川崎市公文書館講座中級古文書講座」 ★展覧会 R7「令和7年度特別展 埼玉の宝物～人々が守り伝えた文化財～」</p> <p>③ 研究実績等 ★論文 R5「文政・天保期における在方白米の勝手売買」(『立正史学 134号』) ★研究報告 R5「春米商と素人勝手売買」(立正大学史学会大会) R6「文政期における御正堰用水組合の同行-福田祀晴家文書を中心に-」(埼玉県地域研究発表会) R7「株仲間解散期における職人集団」(徳川林政史研究所夏季研究集会)</p> <p>④ 今年度の取り組み・抱負・メッセージ 埼玉県の歴史や文化について親しみやすい環境を作れるよう頑張ります！</p>

中村 陽平	日本近世史	<p>① 経歴・職歴 H27～歴史と民俗の博物館(展示担当)、R3～嵐山史跡の博物館(学芸担当)、R5文化資源課(指定文化財担当)、 R6～R7文化財・博物館課(指定文化財担当)、R8～歴史と民俗の博物館(特別展示・広報担当)</p> <p>② 過去の業務実績(展覧会・図録執筆を含む) H28 特別展「徳川家康」 H29 特別展「明治天皇と氷川神社」 H30 企画展「古文書 大公開!」 H31 企画展「北沢楽天と時事漫画」 R1 特別展「武蔵国の旗本」 R4 企画展「武蔵武士と源氏」</p> <p>③ 研究業績等</p> <p>◆ 論文・研究ノートなど(直近・主なもの) H29 「御朱印地配分からみる近世鎌倉寺社領の成立と構造」(中野達哉編『鎌倉寺社の近世』岩田書院) H29 「中山道板橋宿における伝馬役負担と宿開発」(『駒沢史学』89号 駒沢史学会) R3 「小藩陣屋支配における陣屋手代と「雇」役人」(『駒沢史学』95号 駒沢史学会) R3 「旗本を展示する」(『関東近世史研究』89号、関東近世史研究会) R3 「旗本菩提所の「成立」と護持―旗本水野家菩提所昌国寺を事例に―」(『埼玉地方史』83号、埼玉県地方史研究会) R5 「岡部落半原領における領主と在地寺院」(中野達哉監修・駒澤大学近世史研究会編『近世三河と地域社会』岩田書院、2023) R6 「旗本水野家の葬送と菩提所・昌国寺」(歴史と民俗の博物館『紀要』18号、2024) R8 「小藩における雇役人と職制―常陸府中藩・陸奥守山藩を事例に―」(『駒沢史学』106号、駒沢史学会)</p> <p>◆ 資料紹介・展示報告など(直近・主なもの) R2 「大木戸はあったのか―地域の歴史を読み直す―」(地方史研究協議会編『日本の歴史を原点から探る』文学通信) R3 「コロナ禍の博物館活動」(『地方史研究』412号、地方史研究協議会) R4 「正法寺所蔵旗本水野忠貞奉納明版大蔵経について」(『埼玉県立史跡の博物館紀要』15号) R5 「茂田井石川家に伝わる由緒書の謎」(『葦のみち』33号、三郷市教育委員会) R8 「武州葛飾郡半田村文書について」(『葦のみち』36号、三郷市教育委員会)</p> <p>◆ 口頭発表・講座など(直近のもの) R3 「旗本を展示する」(関東近世史研究会シンポジウム「旗本研究のこれまでとこれから」) R4 「昌国寺と旗本水野家」(鉢形城歴史館 令和4年春季企画展「昌国寺」歴史講座) R8 「古文書調査の実践と文化財保護」(一宮市尾西歴史民俗資料館「博物館資料を学ぶ」)</p>
なかむら ようへい	藩領の地方支配	

山田拓実	日本近世史	<p>①経歴・履歴 R7.4～ 歴史と民俗の博物館(企画・学習支援担当)</p>
やまだたくみ		<p>②過去の実績(調査・展覧会運営・講演会等) R7「日光道中400年:家康の霊廟へ続く道:日光道中・日光御成道と埼玉の諸宿」(友の会プレミアム講座、於:県立歴史と民俗の博物館、2025年11月)</p>
	<p>近世中後期幕藩政治史、小笠原流騎射・礼法にみる近世中後期の社会変容、大名・旗本、日光奉行</p>	<p>③研究業績等 ◆論文 R7「諸藩の公用通行と千住宿御用達」(『足立区立郷土博物館紀要』45号、2025年2月) R8「近世後期武家社会における大名と旗本の交際:加賀藩前田家「出入」旗本の研究」(『学習院史学』第64号、2026年3月) ◆書評など R6佐藤雄介・山田拓実など「2023年の歴史学会:回顧と展望(日本近世四 大名・藩政後期)」(『史学雑誌』133編5号、2024年6月) R7「書評 篠崎佑太『近世後期の大名家格と儀礼の政治史』」(『日本歴史』925号、2025年6月) ◆研究報告 R5「近世後期武家社会における小笠原平兵衛家」(第64回日本史関係卒業論文発表会報告、2023年4月) R6「近世中後期の旗本と加賀藩」(加賀藩研究ネットワーク例会報告、2024年5月) R7「大御所時代の幕藩関係と旗本小笠原平兵衛家」(関東近世史研究会8月例会報告、2025年8月) R8「近世中期日光神領の展開と江戸幕府:旗本稲生正延「日光奉行在勤日記」の分析から」(埼玉地方史研究会2025年度第2回定例研究会報告、2025年4月)</p>
		<p>④今年度の取り組み・抱負・メッセージ 企画・学習支援担当として、藍染め体験などの体験学習を担当しています。体験を通じて、少しでも多くの皆さまに歴史の面白さを感じていただけるように努めたいと思います。</p> <p>⑤その他 R6 准認証アーキビスト</p>

井上 かおり	日本近代史	<p>① 経歴・職歴 歴史資料館、民俗文化センター、県文化財保護課、県立博物館、県文化資源課、平和資料館、文書館を経て、令和6年度から歴史と民俗の博物館に勤務。</p>
いのうえ かおり		<p>② 過去の業務実績 H21「いただきます～食の文化史～」展運営(歴史と民俗の博物館) H27「小室家文書展－在村医のまなざし－」展運営(文書館) R3「埼玉再建！－『埼玉メガホン』と復興の時代－」展運営(平和資料館) R4「戦争と学校－子供たちのたたかい－」展運営(平和資料館) R5 県政出前講座「文書館で学ぶ浦和宿の近現代」講師 R6 講座「日本史のなかの埼玉県－近代日本と埼玉県－」講師 R7 常盤公民館サマースクール「講座 浦和の歴史」講師</p>
	幕末維新史、特に近代日本が成立するまでの過程など	<p>③ 研究業績等 H15『『評議録』に見る創業期の日本煉瓦製造株式会社』研究紀要第17号(文書館) H21『名栗の歴史(下)近代・現代』(共著)(飯能市郷土館) H29『『暴徒一件書類－埼玉県入間・高麗郡役所－』について』研究紀要第12号(歴史と民俗の博物館) H30『近現代展示室の現状と課題－リニューアル10年目の検証にかえて－』研究紀要第13号(歴史と民俗の博物館) R4『日本史のなかの埼玉県』(共著)(山川出版社) R7『『埼玉メガホン』にみる戦後復興期の埼玉県広報』研究紀要第20号(歴史と民俗の博物館)</p> <p>④ メッセージ 不穏な世の中ですが、水と緑に囲まれた当館が、皆様にとって一服の清涼剤になることを願っています。</p> <p>⑤ その他 猫とスポーツ観戦(主に野球)、庭園巡り、近代建築探訪が好きです。</p>

<p>木村 遼之</p>	<p>日本近現代史</p>	<p>①経歴 H28～埼玉県立文書館古文書担当、H31～同館公文書担当 R4～歴史と民俗の博物館企画担当、R6～展示担当、R7～特別展示・広報担当</p>
<p>きむら りょうじ</p>	<p>近代日本の文化財 保護、公園など</p>	<p>②過去の業務実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28 収蔵古文書目録第56集『黒田(小)家文書・諸家文書区目録』編集 ・H29 文書館コーナー展「新公開 黒田(小)家文書・諸家文書」 ・H29 明治150周年記念県製作映画『埼玉の明治維新』製作協力 ・H30 講演「埼玉の明治維新」 ・H30 歴史と民俗の博物館人物展「文明開化の先駆者 清水卯三郎」 ・H30 収蔵古文書目録第57集『青木家文書目録』編集 ・R1 文書館企画展「熊谷の記録と文化」 ・R1 アーカイブズカレッジ「埼玉県立文書館における構造把握の実践」講師 ・R3 文書館企画展「埼玉スポーツものがたり」 ・R4 講演「秩父事件とは何か」 ・R4 歴史と民俗の博物館特集展示「新編武蔵風土記稿と文化財」 ・R5 講師「清水卯三郎の生涯」など ・R6 特別展「鷹のおでましー鷹狩の美術ー」副担当 ・R7 企画展「名所 大宮ー鉄道のみち・公園のみちー」
	<p>近代日本の文化財 保護、公園など</p>	<p>③メッセージ</p> <p>文書館では資料保存、整理や展示のほか、公文書の管理やシステムなども経験させていただきました。博物館でも魅力ある企画を作れるよう取り組みます。</p>

<p>鈴木 一史</p>	<p>日本近現代史</p>	<p>①経歴・職歴 R02年度～ 県立歴史と民俗の博物館 学習支援担当 学芸員(主事級) R03年度～ 県立歴史と民俗の博物館 資料調査・活用担当 学芸員(主事級、主任級) R06年度～ 県立文書館 史料編さん担当 学芸員(主任級) R07年度～ 県民生活部県民広聴課 総務・企画担当 平和資料館駐在 主査</p>
<p>すずき かずふみ</p>	<p>日本近現代史</p>	<p>②過去の実績(調査・展覧会運営・講演会等) H21 特別展「大田黒元雄の足跡 西洋音楽への水先案内人」(杉並区立郷土博物館) H25 特別展「辻村伊助 アルプスに挑んだ小田原の登山家」(小田原文学館) H29 特別展「小田原城址の150年 モダン・オダワラ・キャッスル1868-2017」(小田原城天守閣) H30 特別企画展「昭和館で学ぶ『この世界の片隅に』」(昭和館) R02 企画展「新収集品展2018・2019」(県立歴史と民俗の博物館、一部展示資料選定・解説分担執筆) R02 講演「街道と旅 埼玉と鉄道の近現代史」(埼玉未来大学 ライフデザイン科) R03 開館50周年記念事業展示「博物館のあゆみ」(県立歴史と民俗の博物館、年表作成・写真選定) R04 「新収集品展2020・2021」(県立歴史と民俗の博物館) R05 講演「埼玉と鉄道 -川越に鉄道が通った日-」(出張講座 あなたの街にも「れきみん埼玉」) R06 企画展「みんなの学校(まなびや) -教育史編さんと学校アーカイブズ-」(県立文書館) R06 講演「東松山に明治維新がやってきた -埼玉の歴史と東松山-」(東松山市きらめき市民大学公開講座) R06 講師「官省誌を読む」(県立文書館令和6年度古文書解説講習会) R07 講演「書類のなかの戦争 -埼玉県立文書館収蔵資料からみる太平洋戦争-」(第14回埼玉県学芸員合同研究発表会) R07 企画展「書類のなかの戦争 -戦時下の埼玉に生きた人びと-」(県立文書館、企画) R07 テーマ展Ⅱ「収蔵品展 昭和の暮らし -戦前・戦中・戦後-」(県平和資料館) R08 テーマ展Ⅲ「寄贈資料展 -未来に伝える戦時の記憶-」(県平和資料館)</p>
	<p>アジア太平洋戦争 期の大衆文化</p>	<p>③著作・研究実績・現在、取り組んでいる研究など H25 「戦争の記憶継承と博物館 明治大学平和教育登戸研究所資料館をめぐる研究動向から」(『人民の歴史学』195) H28 「MLA連携における学芸員の役割 小田原市立図書館での実務経験から」(『記録と史料』26) H28 「2016年度歴史学研究会大会報告批判 近代史部会」(『歴史学研究』952) H30 「戦争を描けなかった紙芝居 -戦時下の教育紙芝居をめぐる議論から」(『国策紙芝居からみる日本の戦争』) R03 「翼賛文化運動の戦中と戦後 -加藤芳雄旧蔵埼玉県翼賛文化連盟関係資料から-」(『歴史と民俗の博物館紀要』15) R03 「資料「活用」の仕事 -特別利用の現場から-」(『AMUSEUM』46) R04 「「新収集品展 2020・2021」余録 -展示資料から-」(『AMUSEUM』49) R04 「紙芝居からみる戦時下の社会意識 -埼玉県平和資料館所蔵作品から-」(『歴史と民俗の博物館紀要』16) R05 「序論 時代考証にとって現実とはなにか」(『明治・大正・昭和の時代劇メディアと時代考証』) R05 「川口市戦時下生活関係資料」について」(『埼玉県立歴史と民俗の博物館紀要』17) R05 「インタビューからみる「風布の回り念仏」(秩父郡長瀬町)」(『巡り・廻りの民俗行事調査概報Ⅴ』) R06 「戦争と素人演劇 -大政翼賛会日東村支部「台本「慰問隊(一幕)」から-」(『歴史と民俗の博物館紀要』18) R06 「「あなたに貸すのです」 -資料貸出業務の現場から-」(『AMUSEUM』53) R07 「解説「埼玉県行政文書」と「官省誌」の概要」(『埼玉県史料叢書28 官省誌一 埼玉県「東京出張所」文書』) R07 「戦争が宿命になるとき -戦時下の教育紙芝居作品から」(『視覚文化は何を伝えるか』) R07 「貯蓄のゆくえ -埼玉県立文書館収蔵「絵ばなし」研究会」関連資料と埼玉県立久喜図書館所蔵紙芝居「ヨイコノカゴ」から」(『文書館紀要』38) R07 「戦時下の紙芝居と子どもたち -日中戦争期の作品から」(『戦後80年 戦争と子どもたち』) R07 「モノが語る「戦争」⑫ 灯管制用安全遮光カバーは戦争を「語る」ことができるか」(『民具マンスリー』58-8) R08 「学芸員のウラ話 「収蔵品展 昭和の暮らし -戦前・戦中・戦後-」を終えて」(『埼玉県平和資料館だより』63) R08 「二流の悲哀、あるいは現実から目を背けた紙芝居 -戦時下における松永健哉の足跡から-」(『国策紙芝居からみる日本の戦争Ⅱ』) R08 「令和7年度企画展「書類のなかの戦争 -戦時下の埼玉に生きた人びと-」展示報告」(『文書館紀要』39、共著)</p>
		<p>④今年度の取り組み・抱負・メッセージ 埼玉県平和資料館におけるテーマ展、資料受入・寄託更新・貸出、資料保存等を担当します。</p> <p>⑤その他 認証アーキビスト(JCA2025010)</p>